

2月定例会常任委員会の審査(3月)

2月定例会常任委員会の審査(令和7年度補正予算)

総務市民委員会

(条例12件)

【委員長】井出晴美 【副委員長】佐藤菊乃
【委員】川窪吉男、遠藤盛正、下田良秀、伊東美加、小池義治、新家大輔

●今後の市立高校の在り方について 行政経営的な視点を踏まえた検討を

要望 時代の変化や急激な少子化を踏まえ、富士市立高等学校の今後の在り方について早急に検討を進めるため、富士市立高等学校在り方審議会を新たに設置するとのことである。教育や人材育成に関する議論をしていくため、審議会は

教育委員会が所管し、市長が出席する総合教育会議等で問題点の共有を図り、総合的に判断していくとのことだが、検討に当たっては、長期的な財政負担やファシリティマネジメントなど行政経営的な視点が欠かせないと考えているので、情報提供し、しっかりと検討して欲しい。

福祉保健委員会

(条例7件)

【委員長】杉山 諭 【副委員長】荻田丈仁
【委員】太田康彦、笹川朝子、関 明美、植松光徳、望月 昇、小野泰正

●現在の子ども医療費の通院時自己負担金に対する市医師会からの意見は

問 子ども医療費の無償化は、経済的な理由から保護者が医療機関への受診をためらうことなく、子供が必要な医療を受けやすくすることで、子供の健康保持につなげることを目的としているとのことですが、市医師会からは、現在の500円の自己負担金があることで、子供の健康に害があるという意見はあったのですか。

答 市医師会からは、自己負担金がかかると子供の健康を害するという具体的な意見はありませんでしたが、自己負担金がなくなることで、早期受診につながり、病気の早期発見や重症化予防につながるなどの意見をいただいています。また、昨年実施したアンケート調査では、500円の自己負担金があることで、約20%の方が受診をためらったことがあると回答したことから、受診をためらうことで健康を害する可能性があると考えています。

産業教育委員会

(条例2件)

【委員長】長谷川祐司 【副委員長】福永意人
【委員】稲葉寿利、高橋正典、藤田哲哉、吉川隆之、望月 徹、山岡祐貴

当委員会に付託となった議案2件については、当局の説明を受け、原案どおり可決しました。

建設消防委員会

(条例7件、その他3件)

【委員長】佐野智昭 【副委員長】石川浩司
【委員】小池智明、鈴木幸司、山下いづみ、笠井 浩、萩野基行、杉山幸宏

●消防職員を増員し、安全管理隊と日勤救急隊を創設する理由は

問 消防職員の定数を312人から325人に増員し、安全管理隊及び日勤救急隊を段階的に創設するとのことですが、どのような経緯からですか。また、どのような職員を配備しますか。

答 近年相次いでいる災害現場での消防隊員の事故を本市で起こさないようにするため、知識と経験が豊富な定年延長した消防職員を安全管理隊に配備し、災害現場での安全管理等を強化していきたいと考えています。また、現在の日中の救急搬送体制が逼迫していることから、定年延長した救急資格を持つ消防職員等で日勤救急隊を組織し、救急事案への対応力を高めていきたいと考えています。

予算決算委員会

(補正予算11件)

【委員長】小池智明 【副委員長】小池義治
【委員】委員長、副委員長を除く全議員

総務市民分科会

●申請が見込みを下回った要因の詳細な分析を

要望 移住就業支援補助金1820万円の減額は、補助金に100万円が加算される18歳未満の子供の数が令和6年度の20人から12人に減少したこと、子育て・若者世帯F-UJターン奨励金2160万円の減額は、新規事業であったことから、人口統計データや令和6年度に実施した転入者アンケートの結果を基に165件の申請を見込んでいたが、実際には37件にとどまったことによるものとのことですが、原因をより詳細に分析し、次年度以降に生かしてください。

福祉保健分科会

●中央病院が徴収を始めた選定療養費の周知を

要望 二次救急医療に該当しない軽症患者が中央病院の救急外来を受診する場合や、かかりつけ医等の紹介状なしで中央病院を受診する場合には、昨年10月から7700円の選定療養費の徴収を始めたとのこと。市ウェブサイトや病院広報紙、待合室等で周知しているとのことですが、市民や関係医療機関が十分に理解しているとは言い難いため、しっかりと周知に努めてください。

産業教育分科会

●林業振興のため民間企業から派遣される方は

問 林業振興における富士市の課題である営業力や人材不足を解消するため、国の企業派遣型地域活性化起業人制度を活用し、専門性の高い民間人材の派遣を受け入れ、富士市産材の営業や新製品の提案などの業務を担ってもらうとのことですが、現在、どのような企業を候補に検討しているのですか。また、派遣される人材として、どのような人物を希望しているのですか。

答 候補の企業としては、住宅の外装材や内装材、合板の製造や販売などを行っている東京都に本社のある企業に打診しているところです。また、希望する人物像としては、企業において営業に従事し、実践的なノウハウがある方で、市の職員と共に円滑に業務を遂行できる協調性のある方を希望しているところです。

建設消防分科会

●救急安心電話相談窓口の利用状況は

問 救急安心電話相談窓口(＃7119)負担金118万円余の減額は、当初、県が感染症対策として予定していた、相談窓口数を調整したためとのことですが、24時間体制となった令和7年4月からの相談件数はどのような状況ですか。

答 事業主体である県に確認したところ、富士市の相談件数は令和6年10月から令和7年3月までは678件、令和7年4月から12月までは1596件となっており、県内で3番目に多い件数でした。

●緊急性の高い消火栓437基の修繕の進め方は

問 消火栓維持管理費5500万円を増額し、昨年10月20日に発生した消火栓破損事故を受け実施した点検により、緊急性が高いと判断された消火栓437基の修繕等を行うとのことですが、今後どのように進めていくのですか。

答 修繕については、順次修繕を行い、令和10年度までに完了する予定ですが、緊急に修繕が必要と判断された消火栓のうち、劣化が著しいものや修繕が令和9年度以降となるものについては、令和8年度末までに補強金具を取り付ける応急措置を行います。

各分科会において、以上の質疑・答弁・要望があり、全ての付託議案を可決し、予算決算委員会として、以下の事項を当局に要望しました。

- 臨時発熱センターの開設について、救急医療センターは、本市の一次救急医療を支える拠点であり、基幹病院である中央病院への患者の集中を防ぐ等、地域医療全体を守る役割も担っているため、救急医療センターが逼迫することのないよう臨時発熱センターの開設・運営について早い時期から検討するとともに、医薬材料費を含む経費について精査すること。
- 富士市第二東名IC周辺地区土地地区画整理事業の実施による効果などの評価、検証を行い、その結果を公表すること。

1月臨時会／2月定例会

常任委員会の審査

代表質問／一般質問等

特別委員会の中間報告等

議会の構成

議会広報委員のページ

1月臨時会／2月定例会

常任委員会の審査

代表質問／一般質問等

特別委員会の中間報告等

議会の構成

議会広報委員のページ